

網走刑務所製品販賣

和洋家具
池津家具店
網走町南四條西二丁目
電話(二二一五番)

印刷ゴム印・神佛御影及諸野版・ペーパー類
版木彫刻並に高等印肉各種其他附屬品一式

進一貞堂印房
店主 進 兼 太郎
野付牛町一條通西三丁目

精米
麥
卸小賣
西丹尾宏商店
野付牛町大通西五
電話二二〇番

各國時計販賣並修繕貴金屬眼鏡
蓄音器及レコード特約店
高橋時計店
野付牛一條通西二丁目

修繕
販賣
格正
安確
野付牛一條通西二丁目

土地賣却及管理廣告

一、當出張所は網走支應管内に於ける拓殖銀行の抵當
流地の處分を主として賣却し向他の銀行及個人
のものを併せて取扱ふものであります向又御買入の
土地其他の土地でも有利に管理して上げます
二、當會社は顧客本位、最も誠實親切を旨として可成
御便宜を計り買入の御都合に依り代金の三分の一以
上御入金すれば残金は年賦償還に(年利九歩六厘)致
します
三、賣却成立の時は買入より其の金額の五分以内の手
敷料を申し受けます
右の外詳細のことは御來所の際御話致します向二錢
切手御送附になれば營業上其他の概要書を送呈す
野付牛町大通東二丁目角

北海道土地株式會社

野付牛出張所

主任 阿木武兵衛

電話四番

軸物 額面

屏風 調製

表具師 浪水堂

土木建築 日昇務所
北見國野付牛町五條通西四丁目

北海道野付牛町大通東二丁目

製菓
食料品問屋
十一土屋商店
電話四拾六番 電器ツネ
振替口座小樽六五一九

シホ
藥品部
化粧品部
食糧部
卸部
野付牛停車場前
株式會社
ホシ藥局
店主 土屋 伸
電話三二九番

秋氣清き折柄
心も澄める
け高いお姿を
是非御寫眞に
お寫眞は
御家庭の
歴史を物語る

野付牛町二條東一
阿部寫眞館



優秀
堅牢
廉價

赤松靴店
野付牛
驛前

野付牛町二條西四丁目

内科
專門 伊藤醫院
院長醫學士 伊藤 道雄
電話三七五番

産科
婦人科 專門 吉田病院
野付牛町三條通西四丁目
院長醫學士 吉田 角次
電話二二〇番

耳鼻咽喉科
花柳病專門 永井醫院
院長東北醫學士 永井平三郎
電話二二五番

新入
築院
落成
成意
梅澤病院
院長 梅澤 長太郎
電話一四四番

眼科專門
野付牛二條通西一丁目
北見眼科病院
院長東北醫學士 瀧澤 彪
電話七九番

外科
花柳病專門
梅毒血液検査(毎週金曜日)
小林醫院
野付牛町三條通西四丁目
電話五拾八番

鐵道囑託
野付牛町一條通西一丁目
北村齒科醫院
院長 北村 定雄
(電話六拾二番)
副院長齒科醫學士 館 一

野付牛町稻荷小路

御料理 梅月
(電話五四番)

割烹
ひさご
浮世小路 電話二六五番

即席御料理
酒井家
浮世小路 電話一五六番

料理
四國屋
野付牛浮世小路
電話二四二番

御料理
千登勢
浮世小路 電話四一二

和洋塗物
諸君看板
三書堂看板店
野付牛町

時計眼鏡
貴金屬類
野付牛停車場前
山堂
時計

自治制の別天地？

私税を徴する野付牛

時代遅れの悪制度

凶作 漁村不漁と来
ては此節納税が望ましい
が、代るべき財源なしとあ
つて税金は逐年増加するし
一旦賦課されると滞納は
差押 處分しても取
られる制度の下に生活して
るのが我々町民である、併
し幾ら世の中が不況でも死
なずに生きやうと努力せば
負担の軽減を先決
問題としなければならぬを
こで野付牛としては町民各
自の考へ次第で負担を通れ
ることの出来るのは
部費 である出さな
ければ強制力がないから出
さずに済んで仕舞ふ。是れ
迄でも相當な財産家で部費
を出さずに堂々とやつてる
者がある又
銀行 や會社などに
勤務して相當な俸給を取り
豊かな生活をして此部費
なるものを出さないのが多
い、然うかと思ふと勤る銀
行は第三部で其行員が第二
部に
居住 してゐるので取

用途 一定した豫算なるものが
作成されてない、或時は總
會の酒代となり、或時は幹部
の交際費となり、又或時は
祭典の寄附金となる
決算 報告はするが
それに異議があつても謂ふ
べき機關もなく、不當支出
や不正行為があつても被害
者は數百人の部民であるか
ら一々戸別訪問し
捺印 を求めて告訴
すると云ふ憎まれ役を勤め

徴収 すべき規程は
北海道の町村制にも、又野
付牛町例規にも無いそれを
部長副部長など町内のお歴
々が聲高で取りに歩くのは
法規 無視の憲法違
犯であつて、露西亞の革命
黨が満洲の馬賊同然な感じ
がする現在の温顔な町民は
或は
畏怖 の念を懷いて
出しているか知れないが、出
さなければ法律上の強制力
が無いかから自ら負担を軽減
する事が出来る
我町 は現在約五千
圓以上の部費を負担して
から此部費を納めない事に
すると即ち五千圓だけ負担
を軽減することが出来る。
監督出來ぬ
不當支出
極めて悪制度
既に規則有つて徴収する
部費で無いから従つて如何

監督官廳の方針を裏切り
手盛りの報酬を取る
耳を掩ふて鈴を盗むの類
野付牛町が本年一月二十
一日町會に提案して議決し
た名譽職吏員實費弁償額報
償規程を見ると
部長 手盛は一ヶ月
五十圓、部長代理者全二十
圓であつて、公務の爲めに
出張する時は二等運賃外に
日當一圓五拾錢、宿泊料四
圓を
支給 することに
なつて居る。然るに監督官廳
では此年額五十圓が多いと
云ふので豫算としては許さ
ない云ふ話を理事者から
直接聞いた。それも其等我
らの類である。
部則は
作成しても

法律上無効
多年無規則の間に部自治
を執つて来た野付牛町の内
流石に第三部は
前非 を悔ゆるもの
を、如く本年の總會で部の規
約を造ることを議決した、
如何なる規程が出来たのか
今以て其草案も脱稿も耳に
しないか、假りに出来て見
た處が、そんなものに部民
一般を
拘束 する法律的効
力の有らう筈はない、第一
其總會なるものは料理屋の
二階で開いたもので、會費
一圓持ちて出席した少數の
人だけで決定したものであ
るから部民の何分の一と云
ふ
少數 意見のもので
あるから町會でさへ半数以
下の決定されぬと云ふ、公
の慣習による會議法上無効
の議決であるし然うかと云
ふて代議員制度に依つたも
のでもないから少數者の決
議で
多數 部民の權利義
務を拘束することの出来や
う筈がない、假りに適法に
部會が成立して出来た規則
であるとしても素々部なる
ものは北海道町村制第拾
條に依る、町村長の
補助 機關であるか
ば
市政 を敷くと誇る
大野付牛の真中に部落あ
りとは言ふ方で耻しくない
のでなく其活動範圍は町村
でせうか。普通選舉の市に

例規 の内にあるの
だから若しも部費など云ふ
ものを適法に徴収しやうな
ら矢張り町村制第百拾條に
基く内務大臣の認可を得た
例規を作成しないとい一般部
民に向つて
徴収 することが出
ない筈である。然らざる
限りは依然不當利得で
あると斷言するに悖らない
徴税同然な
徴収振り
據出と云ふは
全く遁口上
或は部費は徴収するので
ない據出するのだと遁口
上を使ふものもあらうけれ
ど據出ならば一定の規約に
基き出しを求め其賛成
賛成 を求める可きもので
者の任意に依る可きもので
部費納入告知書等と云ふ國
稅徴収と類似の形式に依る
べきものでないから恣意通
口上に三文の値がない元來
部落とは村里と云ふことで
民家 の一むれを指
すことであるのは日本語を
知る者の先刻御承知の点で
人家櫛比した市街の而も一
足運べば役場に行く處であ
るべきものでない、仁頃と
か傍士とか若松大正部落は
イザ知らず、今に一足進め
ば

反威 があるのでは
ない北海道の他の地方即ち
函館、小樽、札幌、旭川、
室蘭、釧路、浦河、江差等
に居つて未だ當て部費な
るものを要求されたことが
無いから野付牛に居住して
不思議に想ふからである。
現に同じ支廳管内の
網走 町でも部費は
徴収してない、嘘と思つた
ら網走から當町に移住して
る人に聞いて御覽、加之荷
し人も眞に負担すべきもの
なら部民悉く負担して出
し人を出さぬ人である
不公 平なものでは
ないか筈である。眞に強制
して徴収することの出来ぬ
ものなら一般から徴収しな
いのが正當である。斯る野
蠻な制度は速に
改善 すべきもので
あるを信するから吾々廣く
監督官廳は知らずに居るで
せうか敢て
道廳 地方課長及實
廳長の一擧を乞はんとする

裁判 所でた相手を
する覺悟を以てお出でな
さい、法律のある國で法律
に依らない徴税ややるのは
監督官廳は知らずに居るで
せうか敢て
道廳 地方課長及實
廳長の一擧を乞はんとする

之ぞ知るか
或はアキメクラか
以上の言にして條理に反
するなら部長でも副部長で
も町公職者でも公なる方
法で
所信 を報じてはし
ない、若しもそれは然うだが
今迄のやり來り通り不當に
部費を集めると野蠻な考を
實行するなら止むを得ない
から部民諸君よ部費は
其顔 に免じて一旦

開會 した部會で多
職者の頭の陳腐さに一驚を
喫せざるを得ない
全く野付牛のみの
專横なる惡慣習
眞に徴収するならば
強制力を附随せしめ
出さない人の無いやうにせ
吾々が四年前から此言を
發するのは決して部なるも
のに

之ぞ知るか
或はアキメクラか
以上の言にして條理に反
するなら部長でも副部長で
も町公職者でも公なる方
法で
所信 を報じてはし
ない、若しもそれは然うだが
今迄のやり來り通り不當に
部費を集めると野蠻な考を
實行するなら止むを得ない
から部民諸君よ部費は
其顔 に免じて一旦

裁判 所でた相手を
する覺悟を以てお出でな
さい、法律のある國で法律
に依らない徴税ややるのは
監督官廳は知らずに居るで
せうか敢て
道廳 地方課長及實
廳長の一擧を乞はんとする

和洋小間物化粧品紙問屋

田卷商店

電話二七七番振替小樽五二五八

北海道野付牛町大通東二丁目
製菓 食料品問屋 **十一土屋商店**
電話四拾六番 電器ツネ
振替口座小樽六五一九

木藥品部
シ化粧品部
藥化粧部
店食部
組卸部
織卸部
野付牛停車場前
株式會社 **ホシ藥局**
店主 土屋 伸
電話三二九番

網走刑務所製品販賣
和洋家具 建具製造 **池津家具店**
網走町南四條西二丁目
電話(二二五番)

印刷ゴム印・神佛御影及諸野版・ペーパー類
版木彫刻並に高等印肉各種其他附屬品一式

進一貞堂印房
店主 進 兼太郎
野付牛町一條通西三丁目

精米 卸小賣
麥 卸小賣
西丹尾宏商店
野付牛町大通西五
電話二二〇番

各國時計販賣並修繕貴金屬眼鏡
蓄音器及レコード 特約店

修繕 高橋時計店
販賣 正格 野付牛一條通西二丁目

和洋塗物 諸君請看 三書堂看板店
野付牛町

野付牛町北七條西一丁目一番地
無盡株式會社
電話一五〇番
振替小樽五〇〇二番

秋氣清き折柄
心も澄める
け高いお姿を
是非御寫眞に……

お寫眞は
御家庭の
歴史を物語る

野付牛町二條東一

阿部寫眞館



優秀
堅牢
廉價

野付牛 赤松靴店
驛前

建築請負

附帶する
設計製圖無料

請負師 大靜 西森靜記
野付牛四條通東三丁目

東京諸新聞販賣

木村文海堂
野付牛三ノ西二

常呂網走間
定期自動車運轉

網走發 午前七時 常呂着 九時卅分
常呂發 正午 網走着 午後二時卅分
且し台等間外は貸切自動車運轉の用に懸る

金融に便利で

貯蓄に有利は

殖産無盡に限り

殖産無盡株式會社
電話 網走 一三八番
野付牛 一八八番

野付牛停車場前
愛山堂

小野田印計舖
電話 一五七番

時計眼鏡
貴金屬類
諸印章彫刻
万年筆販賣
勉強迅速親切丁寧致します
電話 一五七番

軒頭錦繡彩る
裝飾と技巧
二看板製作
二建築洋塗
野付牛町五
堂付三丁目
白野五
看板三
堂付三
町五
角目

開院廣告

小師儀今般御當地有志諸君の熱望に依り渡北致し
難病者の爲め左記の所に於て本月六日より鍼灸治
療院開設致しましたは是迄あらゆる施療を受け
られ効果なき患者諸君は一度御試療の上は是なら確
かに効力ある者と御認めになりましたら御來療あ
らん事を希望す
小師は我國有名なる先生數名の方に付て最新なる
學理と技術を充分に研究を重ねし者なれば御安神
ありたし

適應症——子宮經學、胃經學、腸痛、俗に云ふシ
ヤク、齒痛、神經痛、リウマチ、中風病、肩ノコリ、心臓病
肝臓病、小供ヒキツリ、痔疾、痲痺、肩ノコリ、心臓病
脊髄病、痛風、坐骨神經痛、脚氣、痲痺、肩ノコリ、心臓病
盲症、小供夜ナキ、カンムシ
その他婦人血ノ道一切、泌尿器諸症
施療に應じます
鍼灸術を研究したき御方にて高等學校卒業程度以上
の御方なれば老少男女を問はず一切の學術共教授す
但急病の場合は夜中にも往診治療に應ず

野付牛町三條通西二丁目

至誠堂鍼灸治療院

院長 垣内 長夫

軸物 額面

屏風 調製

表具師 碧水堂

北見國野付牛町五條通西四丁目
土木建築 三日事務所

御料理 千登勢
浮世小路 電話一四二

御料理 三島家
野付牛浮世小路 電話二七五番
大橋辰平

御料理 松の家
野付牛浮世小路

即席御料理 酒井家
浮世小路 電話一五六番

御料理 四國屋
野付牛浮世小路
電話二四二番

御料理 梅月
野付牛町稻荷小路
(電話五四番)

善を爲す勇氣

善を爲すには躊躇の要無きが如しと雖、善を爲すが爲めに惡に抗する場合に於て躊躇するは俗人の習也。茲を以て聖人戒めて『道にして直からざれば千萬人と雖我れ往かず』と千載に教を垂れたり。自ら省みて疚しからざれば、世俗は如何に嘲笑するとも、斷乎として獨往邁進すべき也。

今、社會は風教頹廢し、官紀紊亂して、人心日々に險也。多くの罪惡到處に横はりて、眞摯なる法官警吏をして孰れの處より着手すべきか、其繁に悩むの實狀を呈せる時、進んで罪惡に敵する者少きは何ぞ、是れ所謂、義を見て爲さざる勇なき者の多きが爲めなり、正義は徹底せざるべからず、人道は正しく歩まざる可らずされど、是れが爲めに敵を求むるを怖れて、唯利己主義に走る者、名譽慾に墜る者、左右滔々として皆然るが爲め也。

罪惡を征伐するに、利益なきの故を以て中止し、善事をなすにも其犠牲の高價なるを怖れて中止すること實に今日より甚しきはなし。義人無し、一人も無し、上下交々利を取つて、國危しとは豈太子公の一私言のみにあらんや。

不偏不黨嚴正批判

北見評論

創刊大正十二年十月七日
本紙發行當分
月二回十月廿五日
▲定額壹ヶ月
前金三十錢
六ヶ月前金
壹圓八十錢
壹年前金
參圓六十錢
送附郵料負擔
▲廣告料
壹行 五十錢
壹段 二十錢
特別廣告五割増
兼印刷人 越前直藏
兼印刷人 北見國常呂郡
野付牛町三條通西二丁目
發行所 北見評論社
電話三七八番

別代
電話四十六番
電話百〇四番

網走自動車營業部
電話二六八番

停車場
郵便局前

請負業

電話四〇〇番

時と人 (一)

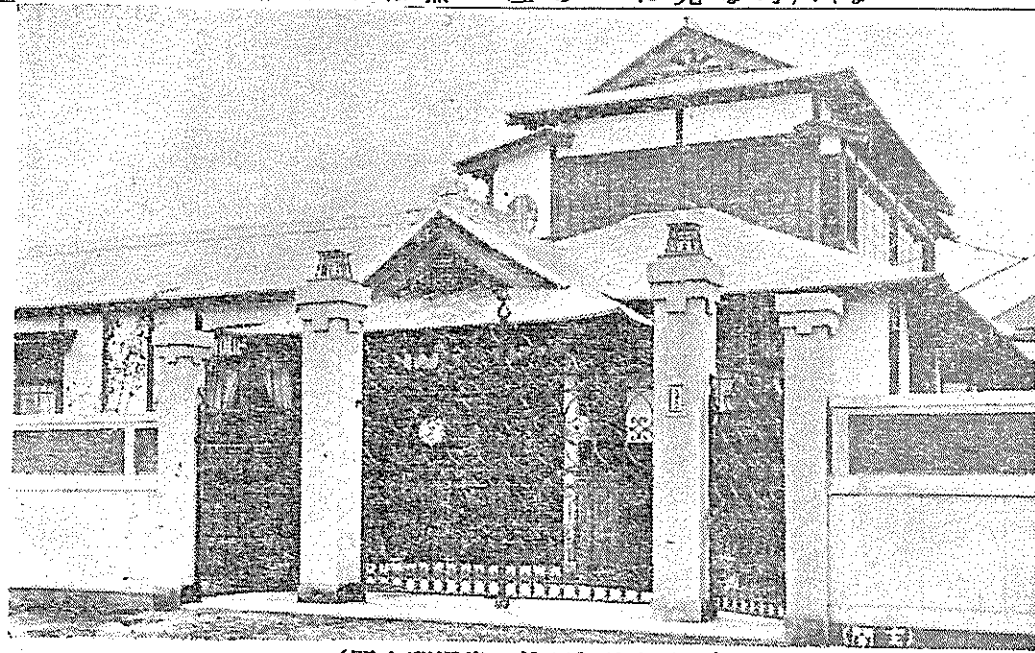
人は時によって得意もあれば失意もある、又其心懸けにも變化あり、仕事の方角も違ふ、本稿は單なる人物評にあらず、時勢の變化を經てし人の動きを緯としてなす月旦也。

小林辯護士

野付牛の爲さなければならぬ急務から言ふと、色々の澤山で、わけても工業立町の施設であるが、緑は異なもの味なもの、後の雁が先きになつて區裁判所が物になりさうだ。

其効は小池代議士を初め新井町議、千葉道議、町理事者等にあるは勿論だが、一面小林辯護士の盡力も無視する事は出来ない、氏は以前檢察として官界にあり亦赤門出身の關係で司法部内の要所に學友あり、政治家には容易に胸襟を開かない官僚系の事務官ともよく折衝するの機会と便宜とあり、野付牛の事情を諒解せしむるに與つて力あつた、何人にも功を誇らざる氏の性格として、恐らく野付牛の多くの人は此事實を知らるまい。

一粒の種が蒔かれて居れば、其所に實を生ずる如く一事の成るは亦其原因ありと云へば、野付牛に區裁判所の出来るのはより以上の



野付牛美觀新築の澤郎玄關

急務ある一面から見て、或方自治と司法官等の標子とは不自然だと云ふ人もあるが、實は裁判所よりも先きに、辯護士が居住して其の實現の種を蒔いて居ると云ふ方面から見ると、寧ろ自然であるとも言ひ得る。

裁判所が出来れば、應て新聞文學の雄編なり一讀熱血の湧くを覺ゆ(値一圓三)

▼新刊紹介△
●涙香文選 萬朝報創立者故黒岩涙香の文選に懸賞文を附加したるもの文章犀利新聞文學の雄編なり一讀熱血の湧くを覺ゆ(値一圓三)

ものど誰れでも思つて居るでせう。併し議會が通過し、前から飯廳舎で開議させやうと盡力するものも恐らく氏が率先して運動するから我町法曹界の先人として地

北村齒科醫院 野付牛町一條通西二丁目 院長 北村 定雄 副院長 齒科醫學士 館 一	小林醫院 野付牛町三條通西四丁目 電話 五拾八番	北見眼科病院 野付牛二條通西二丁目 院長 東北醫學士 瀧 清 彪 電話 七九番	梅澤病院 野付牛二條通西二丁目 院長 梅澤 長太郎 電話 一四四番	黒川醫院 野付牛町三條通四丁目 院長 黒川 章一郎 電話 四〇二番	吉田病院 野付牛町三條通西四丁目 院長醫學士 吉 田 角次 電話 二二〇番	永井醫院 野付牛町二條通西五丁目 院長東北醫學士 永井平三郎 電話 二二五番	花柳病專門 院長東北醫學士 永井平三郎 電話 二二五番
---	---------------------------------------	---	---	---	---	--	--

第六號に基いて許可を得な
 いと道廳令に依つて拘留さ
 れるものだから結局は乞食

野村牛の青年訓練所は追加
豫算を審議する時から町會
で虐待されたいらしいがそれ
でも講師六名を揃へて開所
して見ると生徒はタツタ十
三名ださうだ二百名位ある
隣の野村牛市街で僅か十三
名となつた原因は探究に値
する。

校長の手當
月額僅十圓
是も珍妙な一
荻サン在職中の誇りと
するに足る、高臺の美
觀野村牛女子職業學校
は月百何拾圓の裁縫の
先生が居るのに校長は
中央校長兼壬の故を以

シも是れには參つたらし
 △或副部長は三條通の請
 師から聞いた評論子はア
 なことを書いたと云ふた
 うだが一請負師から聞か
 ければ解らない者が法律
 條文を引いて各部長と論
 を覺悟の批判が出来るか
 若しアレ丈けのことを覺
 した請負師があるとせば
 請負師にして置くに惜
 行政法通達△去二十日
 兄新聞刺墨に「町會で部
 五拾圓の範圍で手當を
 給する規程が出来たから
 單扱のやうに言ふてゐる
 の何處を調べての話か」と
 いてあつたが△北見新聞
 記者も今年の通常町會は
 總した筈だし△又其決議
 役場の公文として北見新
 に其當時掲げたのに之を
 らぬとあれば健忘症患者
 うぞ△殊に可笑しいのは
 法律に認めざるが故に社
 時に義務が無いなどと考
 のはツモ／＼の哭りで
 云々と云ふが第三部の總意
 は即ち部民全體の意志で會
 費一圓持ちて料理屋に集ま
 つた人だけて決定するのは
 專横だと吾々が主張する所
 だ△最後に「部費を出した
 無いいものは野付牛を去れ
 」と云ふ意味を書いてあつ
 たが、憲法第廿二條は國民
 は住居の自由を有すること
 を知らないと思へる△是迄
 相當な金持で部費を出さな
 い人が澤山あるがそれ等の
 人を果して放逐したか△そ
 んなことを書く新聞こそ露
 西亞の革命黨か滿洲の馬賊
 の機關新聞でせう△北見新
 聞は北見一の言論機關ださ
 うだがコンな馬鹿な事を書
 いても其名聲に背かないで
 せうか△全社には近藤と云
 ふ法律の解る男が居る筈△
 知らない事はその男から聞
 いて書いたら世間に笑はれ
 ないでせう△恥を知るなら
 少し調べて書きなさい

事務所 網走町車止内 電話七六番

辯護士 小林教二
法學士 從六位

和洋小間物
化粧品紙問屋

鹽店

電話二七七番振替小樽五二五八

日北見新聞所報を見るに
せざる者あるときは五圓するに
中央校長兼任の故を以て
へるのソモの誤りて

財産 が必要と托
をればよいと強いことは
言つてられるものでないぞ
第六號に依つて許可を得な
れるものだから結局は乞馬

純良牛乳
三澤牧場
和洋小間物
化粧品紙問屋
大田商店

電話二七番振替小樽五二五八

電話二二四番

電話二七番振替小樽五二五八

常呂川の

治水工事

明春から野付牛に着手す
事務所は既に當地に移る
兼任所長の豫定談

天意人心の恵みを受けて
野付牛は向上一途にある
加して昨年國勢調査の折よ
りも約四千の

加増を見たのである
更に明春から目星しい増
加を見るべき趨勢にあるも
のは治水事務所の移轉であ

る、目下大通東八丁目山田
酒造店より南に這入つた電
氣變壓所の隣りに事務所が
移轉 され着々工事中

で、其竣工と共に常呂港から
吏員が引揚げて来る筈であ
る、之に就て兼任所長である
川路治水事務所所長齋藤修

氏を黒部方面で訪問すると氏
の曰く「常呂川治水工事は
三方 面から成り第一

は常呂河口から三里、第二
は野付牛端野間延長約六里
第三は訓子府を中心として
約一里の開修であつて、下

常呂の方は去る大正拾年か
ら着手し
本年 度を以て凡そ完

成するから明年以後は後の
二つに着手する筈である、
尤も是れは第二拓殖計劃に
屬して居るから第五十二議

會に於て豫算決定以後でな
い

い

純良牛乳

三澤牧場

野付牛町
(電話二二四番)

和洋小間物

化粧品紙問屋

大田

商店

電話二七番振替小樽五二五八

から其約二倍の人馬を要す
の勘定だが、それは政府の
方針の
年度 割の如何に依つ
て増減されるから今俄かに
確定的に云ふ能はざるも大
体明年度は豫算の都合上余
り大した仕事が出来ない形
勢である。治水の仕事は此
頃大した

洪水 なき故世間も余
り騒がな以前は各地共其
の歳月とを要する事と思ふ
が御興を据へるのを大に
歓迎したものである。云々
を語つたが、應慶事務所の
新 來を今は

冷淡 にして野付牛
方面とも向ふ七八年に亘つて各
方面とも大なるお蔭がある
からその内歡迎會位は開か
る人乃至百五十人を用いた
ねばなるまい

直營 とし吏員並に勞
働者が這入るのである、常
呂の工事は毎日馬三十頭人
からその内歡迎會位は開か
る人乃至百五十人を用いた
ねばなるまい

野付牛にも出來た
名産薄荷の精製場
組織は匿名組合で
この秋から着手す

薄荷の生産地でありなが
ら之を精製する處が無い為
め値段の安い處でも賣らね
ばならぬ悩みがあつたのを
見の國産は居ながらに

慨嘆 する生産者が多
かつたが茲に見る所であつて
我野付牛にも薄荷精製場が
出來た其組織は匿名組合で
南部氏を組合長とし北見薄
荷精製場と名づけ
工場 事務所を力無
盡會社の向ひに新築した、

委託 精製なども行ひ

い

い

い

い

踏切は用心せよ

線路は歩む勿れ

過ればもとへ返らぬ一命
事故防止に熱心な當局者

鐵道の線路を歩かれないで
ことになつてゐるのに、規則
を犯して歩くものがある為め
鐵道側では能率を害される
ことが多し、随分迷惑し
て居るがそれが爲め、人
命を損ふことも屢々あるの
で、多少能率を害しても出
來るだけ危険を避けるやう
に訓示も注意もしてゐるさう
當局から宣傳を頼んで來た

規則上出來ない寺と
立てると世を欺いて
無智の徒から財物を騙取る
曹洞宗禪寺創立事務所

出来ぬものを出來ると
欺き、その爲めに人を誑か
して財物を取るならばそれ
は騙取であつて
刑法 上詐欺取財の
犯罪に問はれるは明かであ
る、最近野付牛町で魚市場
の隣りに居る曹洞宗禪寺の
曹洞宗禪寺創立事務所

創立 事務所と如何
にも建てられさうな事を云
ふけれど、北海道の第十三
次曹洞宗道會では寺院説教
場監設防止規定なるものを
改正し其第一條に曰く
既設寺院説教所の所在地
より二里以内には絶対に
寺院説教所の新設及移轉
を禁ずるものとす、但既
設寺院説教所の寺院昇格
は此限り非ず

看板 を掲げて居る
寺出張所と掲げたのを本寺
がそれは裏に相の内白鱗

幽霊が出したか
北見新聞の正誤廣告
人間界に通用ならぬ怪辯明
見届けたる申込者の正體

我評論の正誤廣告が俄然大正拾四年拾月三日當寺を
北見新聞に掲げられた勿論退き拾二月拾日現任の就任
金次第で載せる廣告欄だかを見た、撞き鐘は現任職が
新聞社に有るまいが求めた云ふのである、二
ヶ月も前に去つた人のこと
ケ月も前に去つた人のこと
事實が違ふと云ふのはど
陰匿 して津別禪寺
主任といふ肩書だけの幽霊
である、而も幽霊の言ふこ
とだから人間社會に通用し
ない文句である、先づ第一
に可笑しいのは左記の点丈
に可笑すると云ふから其他
の点は書かれた通り事實で
ある、第二は安藤慧成は

幽霊 無くては知
い却つて毛を引いて痰を
求めるばかりだ、汝等のや
うな者が三人應援しても
禪寺は立たないから餘計な
迷ひをしないが爲めだ、
一個寺の創立には二百軒
の檀家と維持するだけの
以下中欄

幽霊 無くては知
い却つて毛を引いて痰を
求めるばかりだ、汝等のや
うな者が三人應援しても
禪寺は立たないから餘計な
迷ひをしないが爲めだ、
一個寺の創立には二百軒
の檀家と維持するだけの
以下中欄

幽霊 無くては知
い却つて毛を引いて痰を
求めるばかりだ、汝等のや
うな者が三人應援しても
禪寺は立たないから餘計な
迷ひをしないが爲めだ、
一個寺の創立には二百軒
の檀家と維持するだけの
以下中欄